

中高の英語指導の実態と 教員の意識

—「中高の英語指導に関する実態調査2015」—

ベネッセ教育総合研究所

【中高英語教育研究会】

根岸 雅史(東京外国語大学)

酒井英樹(信州大学)

高木亜希子(青山学院大学)

工藤洋路(玉川大学)

重松靖(国分寺市立第二中学校)

加藤由美子(ベネッセ教育総合研究所)

福本優美子(ベネッセ教育総合研究所)

大規模調査

2008年「中学校英語に関する基本調査(教員調査)」

2009年「中学校英語に関する基本調査(生徒調査)」

ヒアリング調査

2013年「中高生に対する聞き取り調査」

上智大学・ベネッセ英語教育シンポジウム2013

大規模調査

2014年「中高生の英語学習に関する実態調査」

上智大学・ベネッセ英語教育シンポジウム2014

ヒアリング調査

2014年「中高の教員聞き取り調査」

上智大学・ベネッセ英語教育シンポジウム2014

大規模調査

2015年「中高の英語指導に関する実態調査 2015」

上智大学・ベネッセ英語教育シンポジウム2015

- 中学校、高校の英語教育の実態を広く把握する。
- データに対する意見や感想を他者と共有する中で、自らの英語指導や仕事について、新たな気づきを得たり、振り返ったりする。

- はじめに(5分) 酒井
- 調査結果報告(15分) 福本
- 自由討議(50分) <進行> 酒井
 - 自己紹介(5分)
 - 自由討議①(5分)
 - 自由討議②(12分)
 - 自由討議③(12分)
 - コメント(各4分×3人=12分) 工藤、高木、重松
 - 自由討議④(4分)
- コメント(5分) 根岸
- 全体のまとめ(5分) 酒井

「中高の英語指導に関する 実態調査2015」

調査結果のご報告

 Benesse®

ベネッセ教育総合研究所

グローバル教育研究室
福本 優美子

調査テーマ

中高の英語指導の実態と教員の意識

調査方法

郵送法による質問紙調査

調査時期

2015年8月～9月

調査対象

全国の中学校・高校の校長および英語教員

- ・各学校に校長用調査票＋英語教員用調査票(中3通、高6通)送付
- ・中学校:できるだけ各学年一人ずつ
- ・高校 :コミュニケーション英語(基礎・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのいずれか)担当

有効回答数

中学校 : 校長717名、英語教員1,801名
高校 : 校長435名、英語教員2,134名

本日は教員調査の
結果速報をご報告

属性

【性別】

	中学校	高校
女性	59.6	50.0
男性	39.2	49.1
無回答・不明	1.2	0.9

【教職経験年数】

	中学校	高校
5年目以下	25.3	18.3
6～10年目	19.2	13.8
11～20年目	22.3	25.0
21～30年目	23.5	27.5
31年目以上	8.6	13.9
無回答・不明	1.3	1.5

【設置区分】

(%)

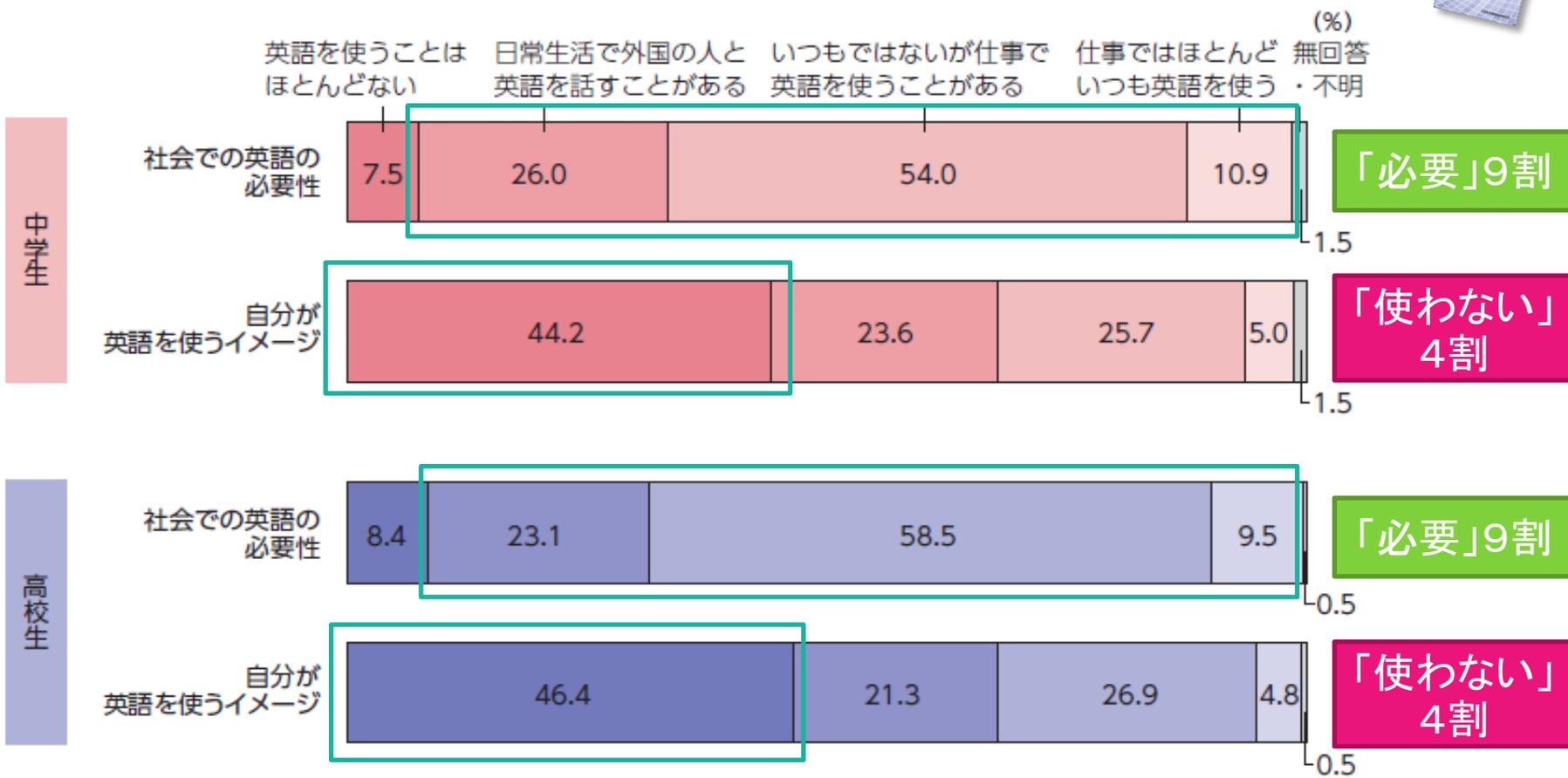
	中学校	高校
国立	1.5	0.7
公立	85.9	73.2
私立	11.9	25.9
その他	0.1	0.0
無回答・不明	0.7	0.2

【課程】

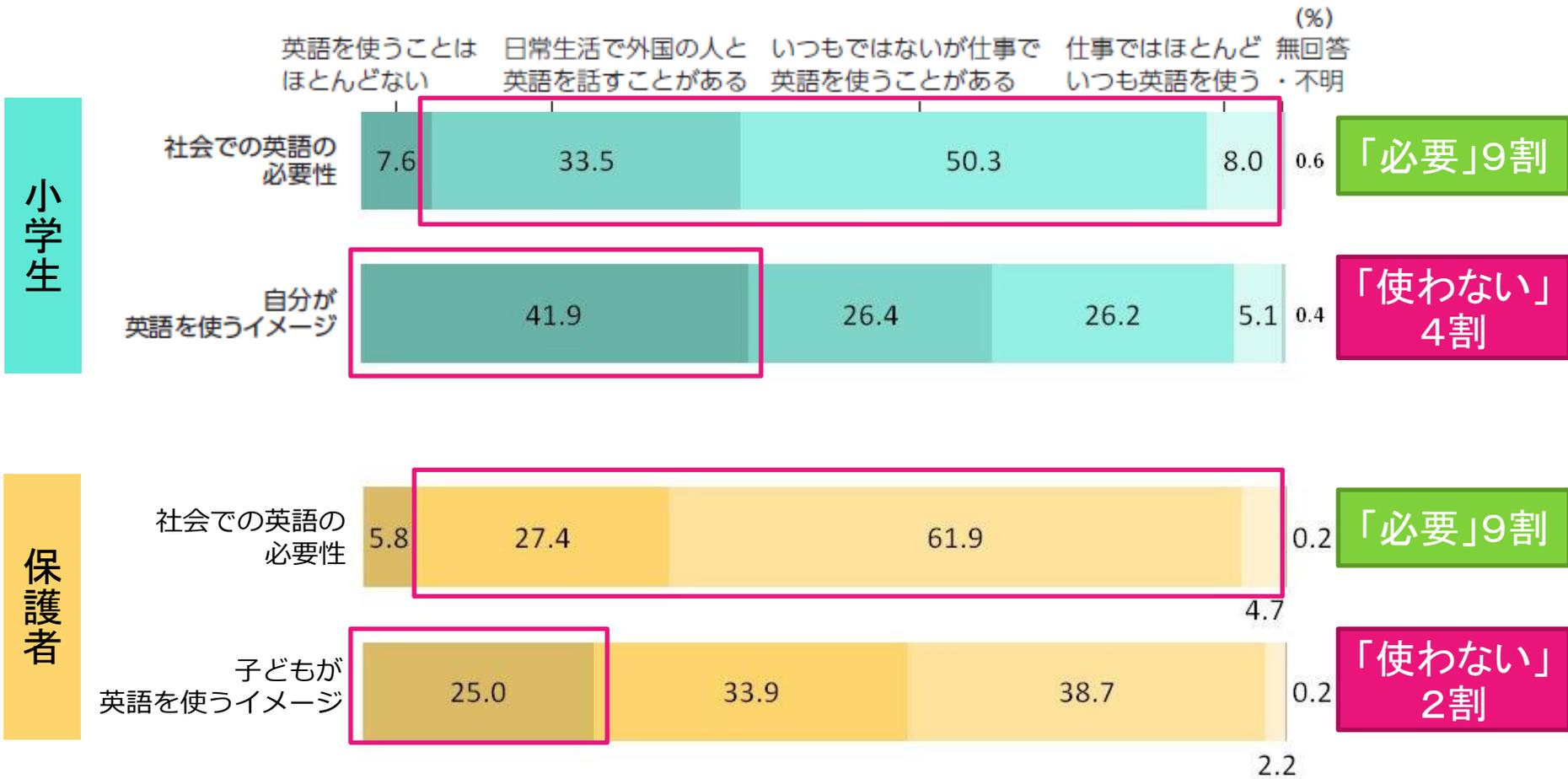
	高校
全日制	97.5
定時制	1.2
通信制	0.0
その他	0.4
無回答・不明	0.9

「将来、英語必要。でも使わない?!」

「中高生の英語学習に関する実態調査2014」



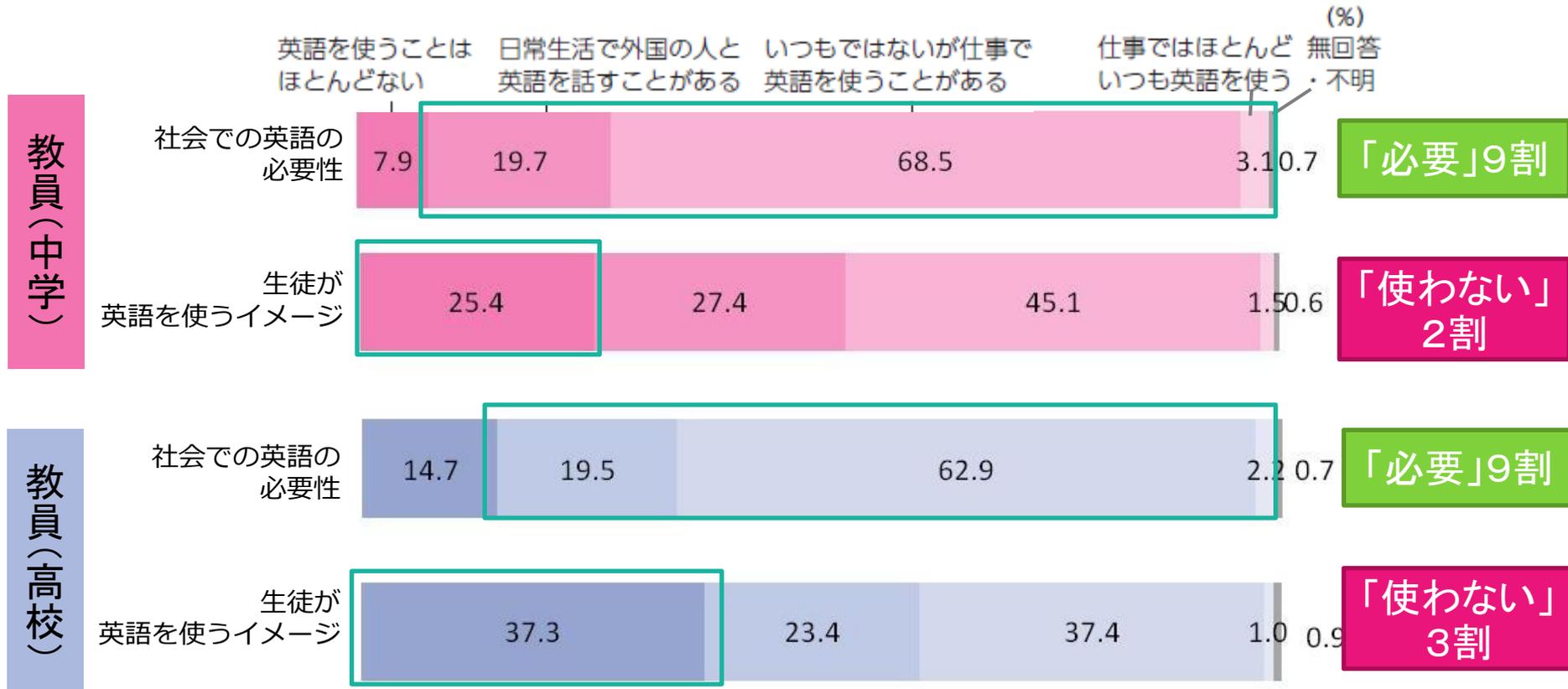
「小学生の英語学習に関する調査」(2015)



*「小学生の英語学習に関する調査」:2015年3月実施。小学5, 6年生とその保護者1,565組対象。

Q：教えている生徒が大人になったとき、

- ①社会でどれくらい英語を使う必要がある世の中になっていると思いますか。
- ②生徒自身はどれくらい英語を使っていると思いますか。



授業で大切にしていること

Q：生徒に対して、あなたが授業で大切にしていることをあらわす言葉として近いものを3つまで選んでください。

指導する立場ではない方も、中高の英語の授業を想像したり、ご自分の学習経験などから考えてみてください。

居場所	驚き	共感	協働	
訓練	好奇心	自信	自律	
創造	楽しさ	探究	蓄積	
挑戦	定着	仲間	納得	発見
未来	理解	その他		

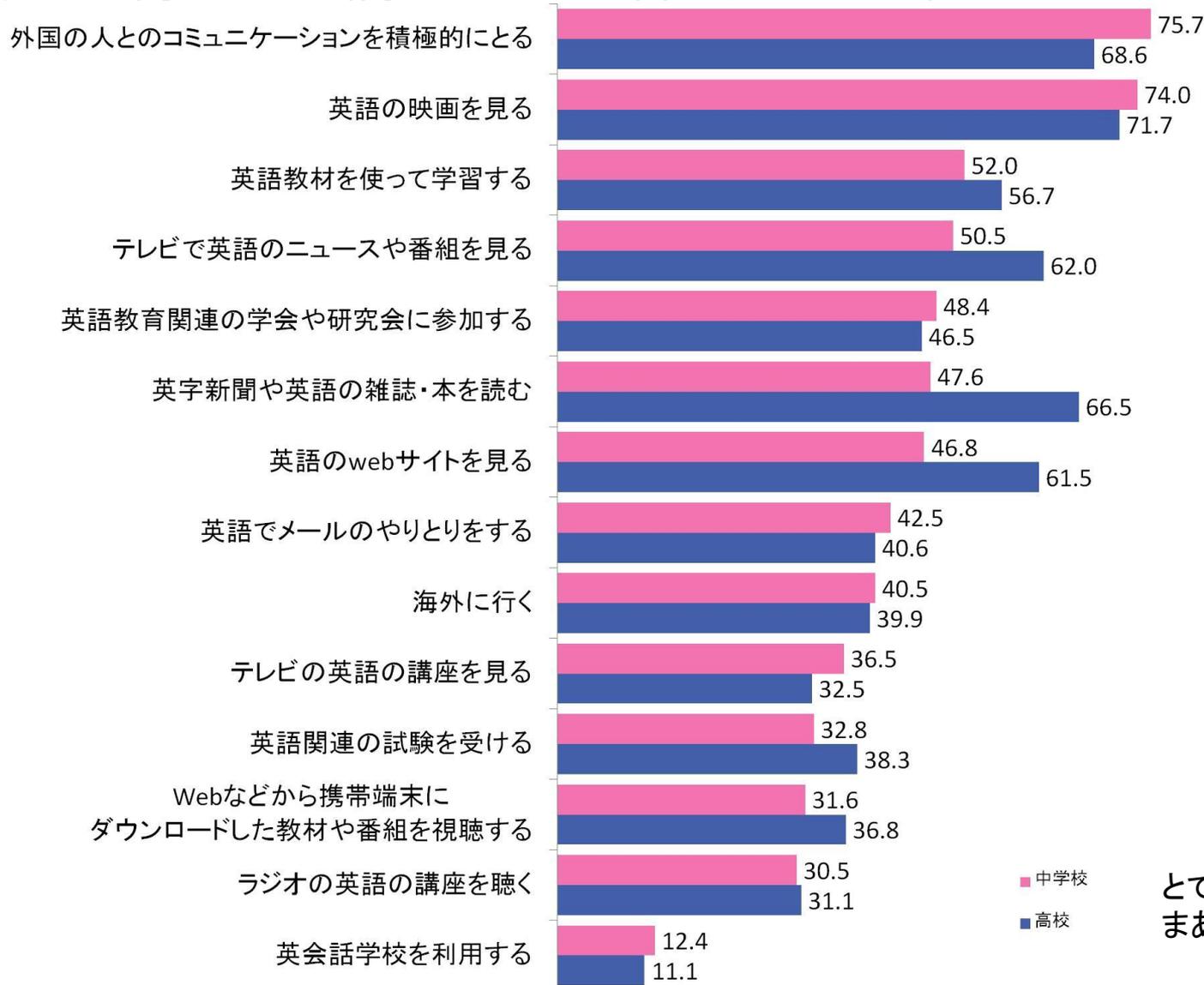
* 選択肢は50音順に並んでいます。

授業で大切にしていること

Q：生徒に対して、あなたが授業で大切にしていることをあらかず言葉として近いものを3つまで選んでください。 (％)

	中学校	高校
①	楽しさ(51.9)	理解(41.9)
②	定着(34.5)	楽しさ(38.1)
③	理解(31.5)	好奇心(32.5)
④	自信(28.6)	定着(30.9)
⑤	好奇心(27.1)	自信(25.1)
⑥	協働(18.9)	協働(16.0)
⑦	挑戦(16.5)	発見(15.4)
⑧	訓練(13.5)	挑戦(14.1)
⑨	発見(11.8)	訓練(13.8)
⑩	仲間(9.1)	自律(9.6)

Q：英語力の向上または維持のために、自己研鑽として行っていることがありますか。

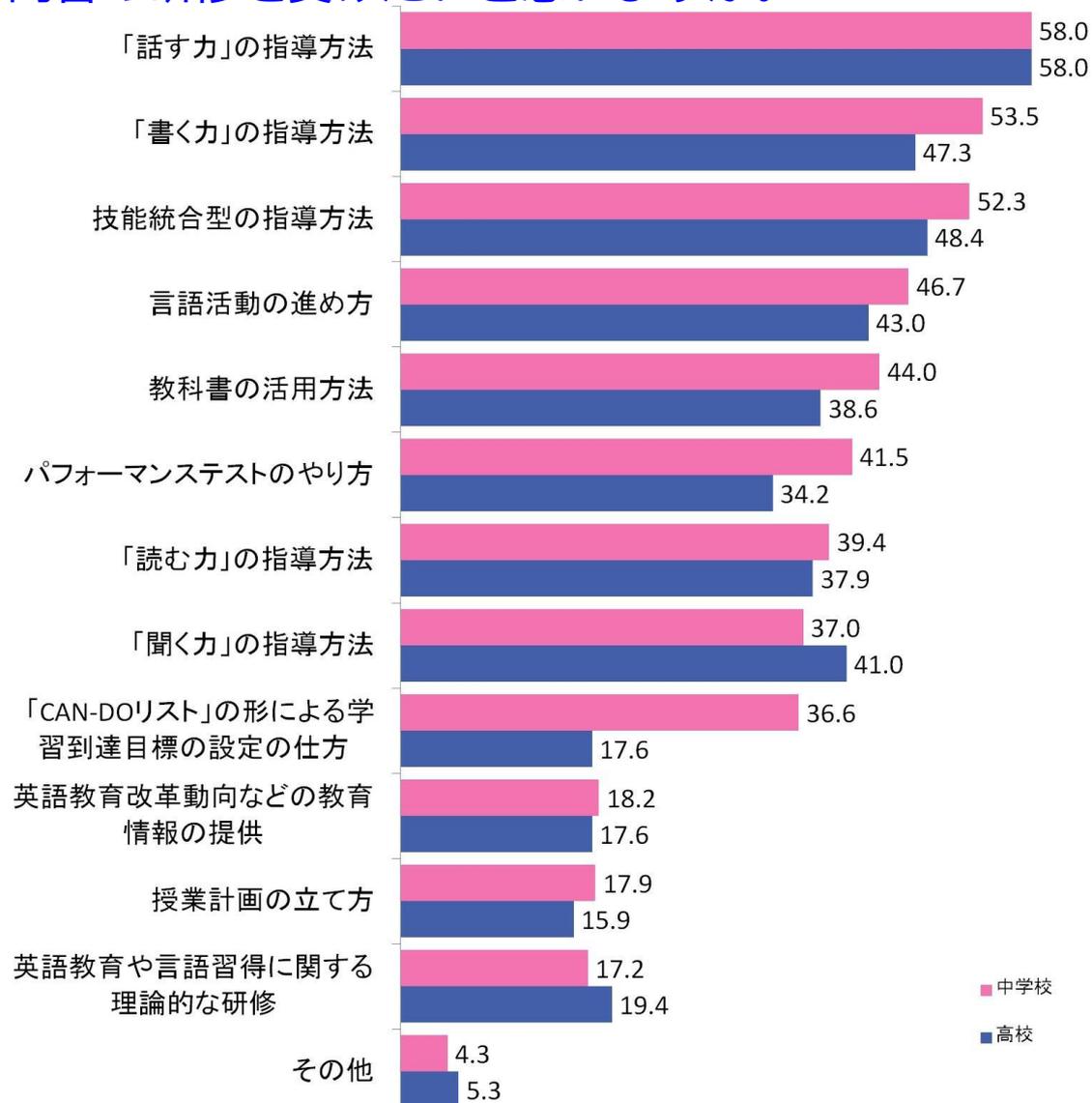


■ 中学校
■ 高校

とてもそう+
まあそうの%

Q：どのような内容の研修を受けたいと思いますか。

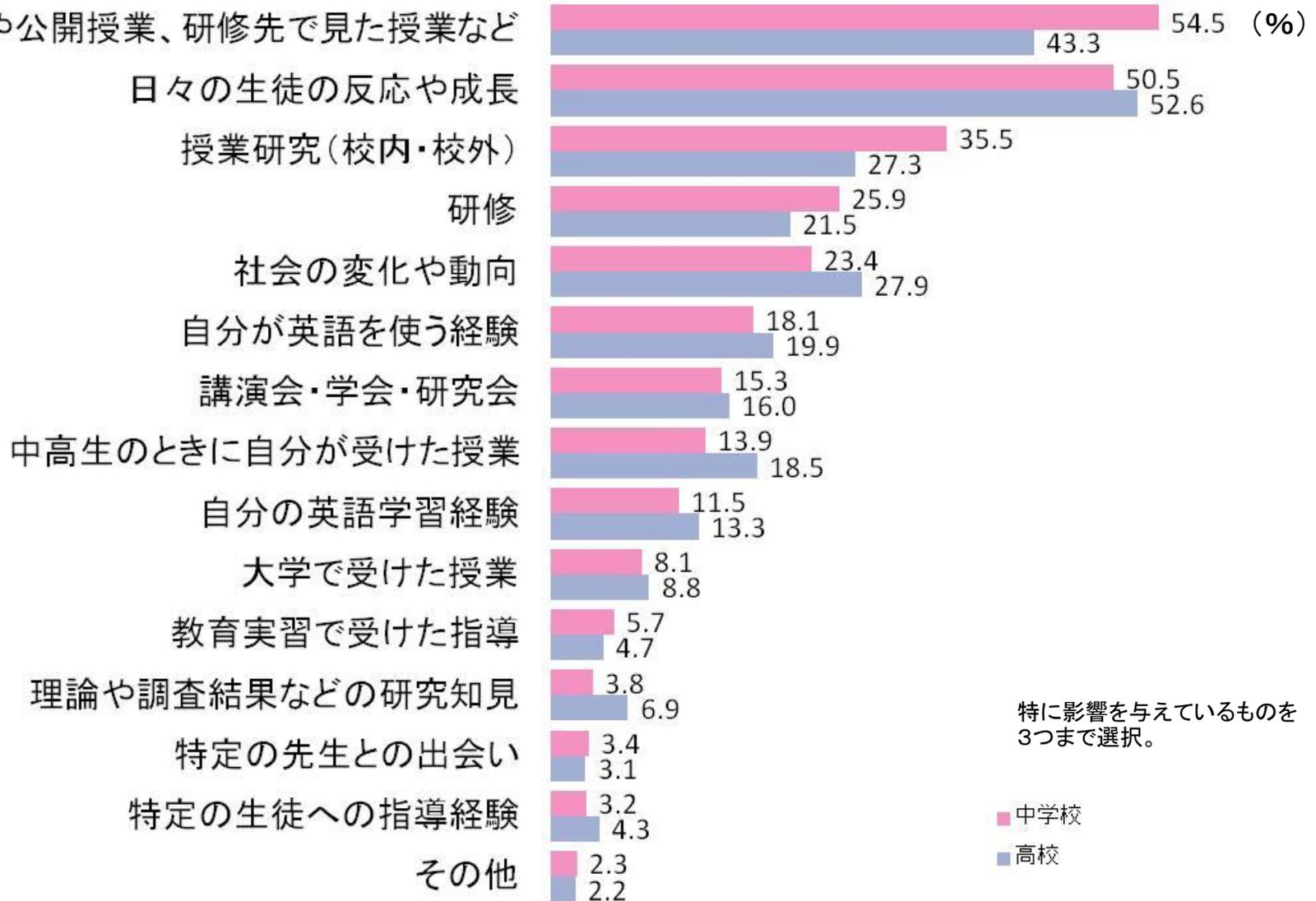
(%)



* 複数回答

指導に影響を与えているもの

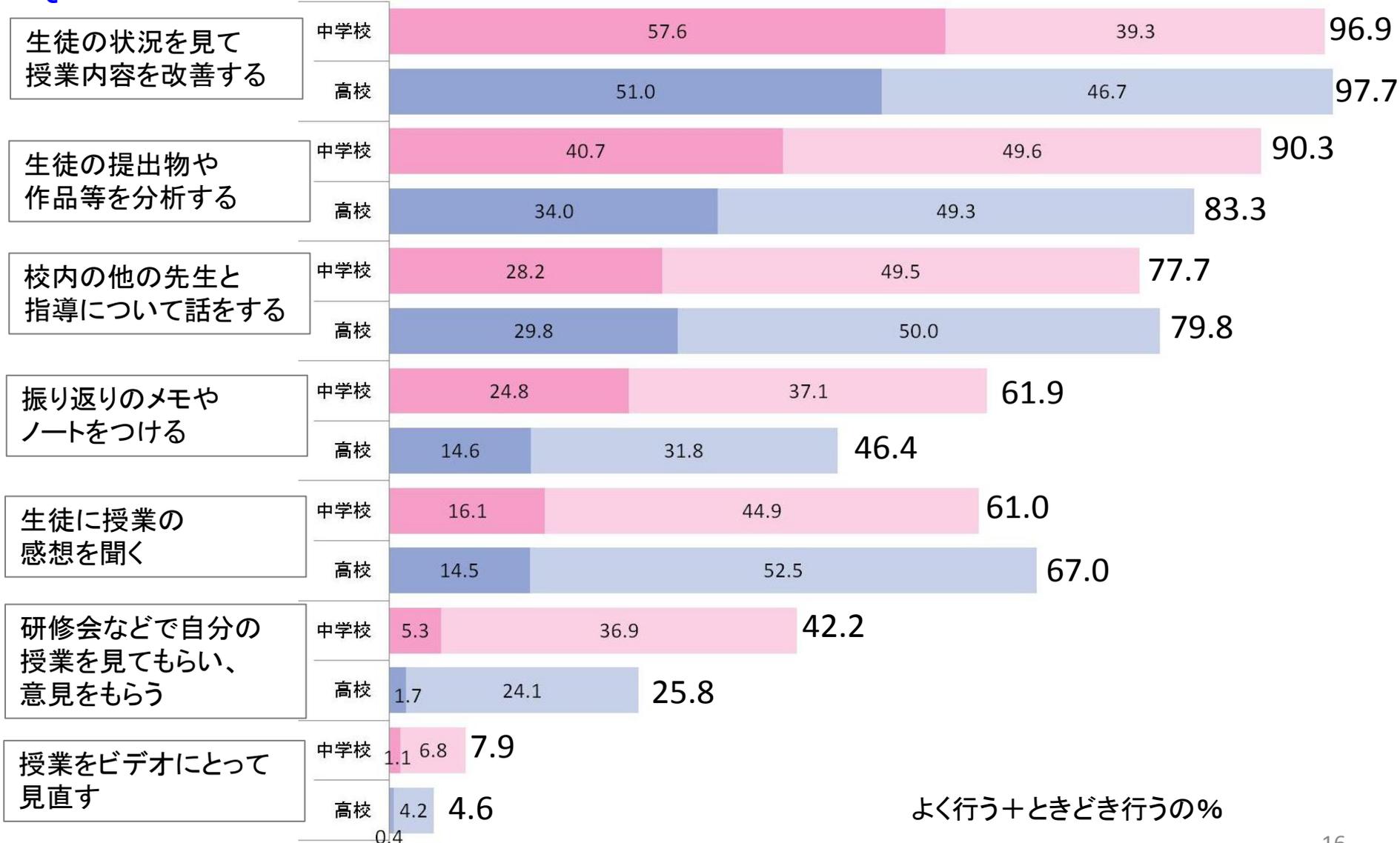
Q：英語の指導をするにあたって、特に影響を与えているものを3つまで選んでください。



授業の振り返り

Q：次のような授業の振り返りをどれくらいしていますか。

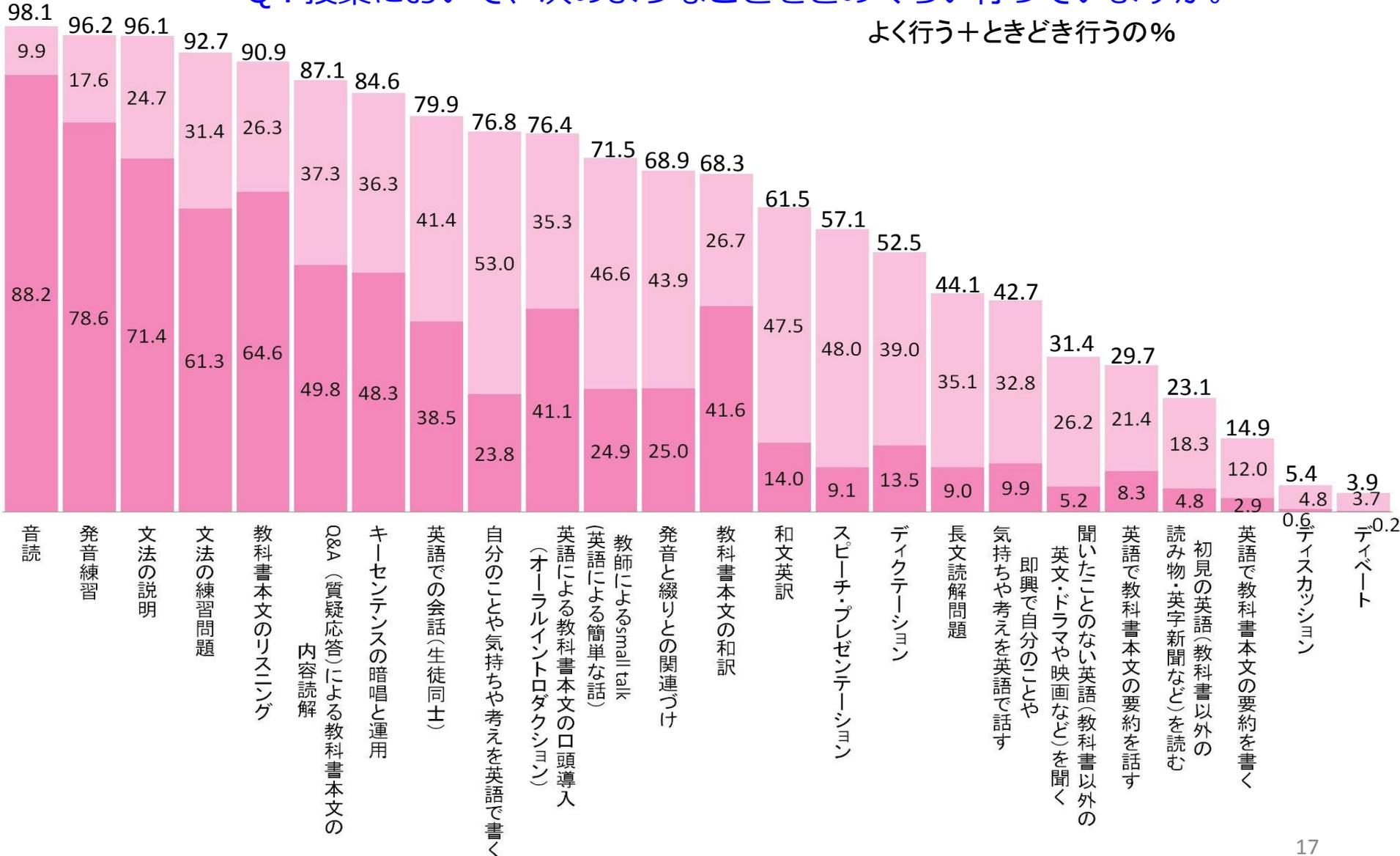
(%)



指導方法（中学校）

Q：授業において、次のようなことをどのくらい行っていますか。

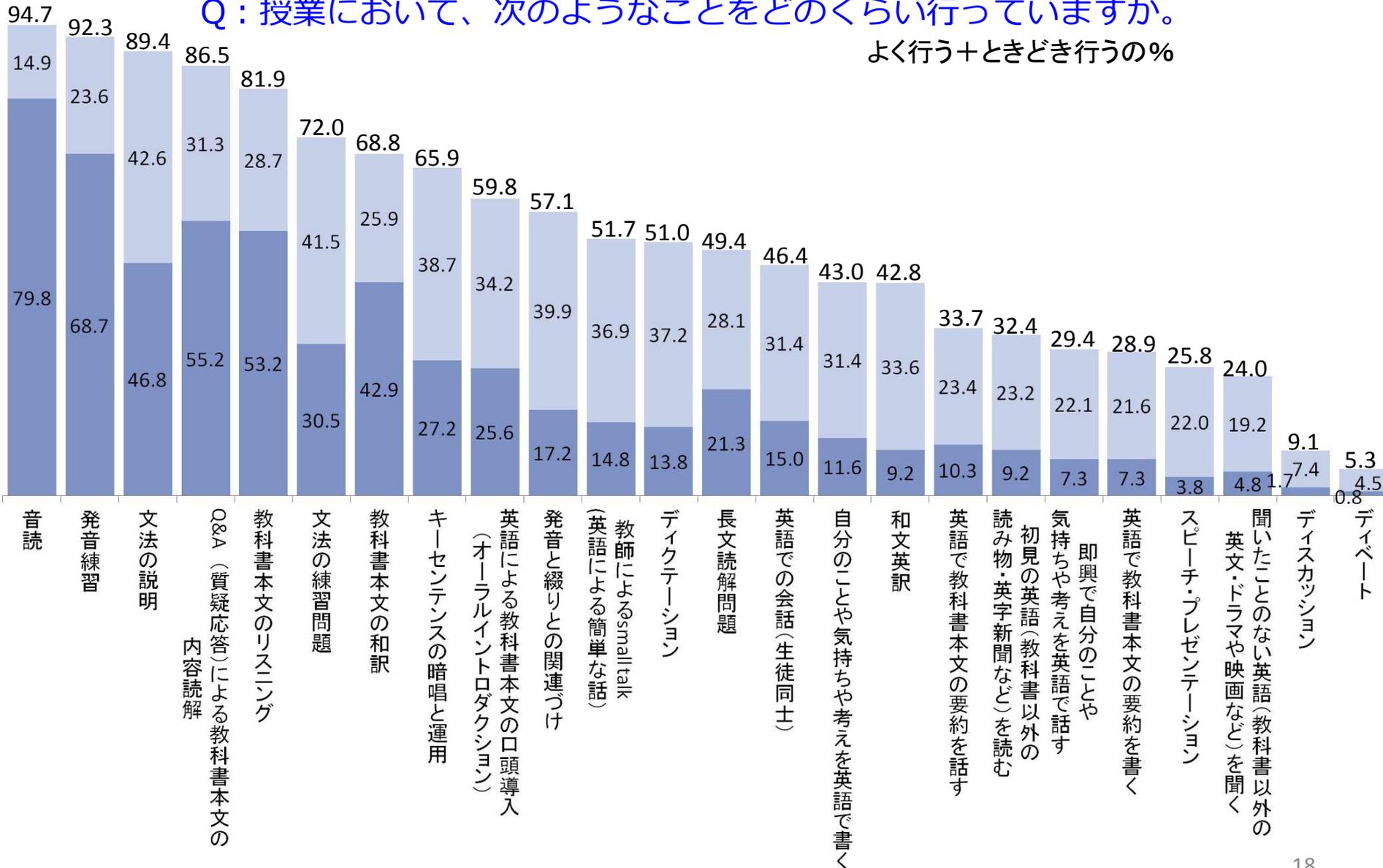
よく行う+ときどき行うの%



指導方法（高校）

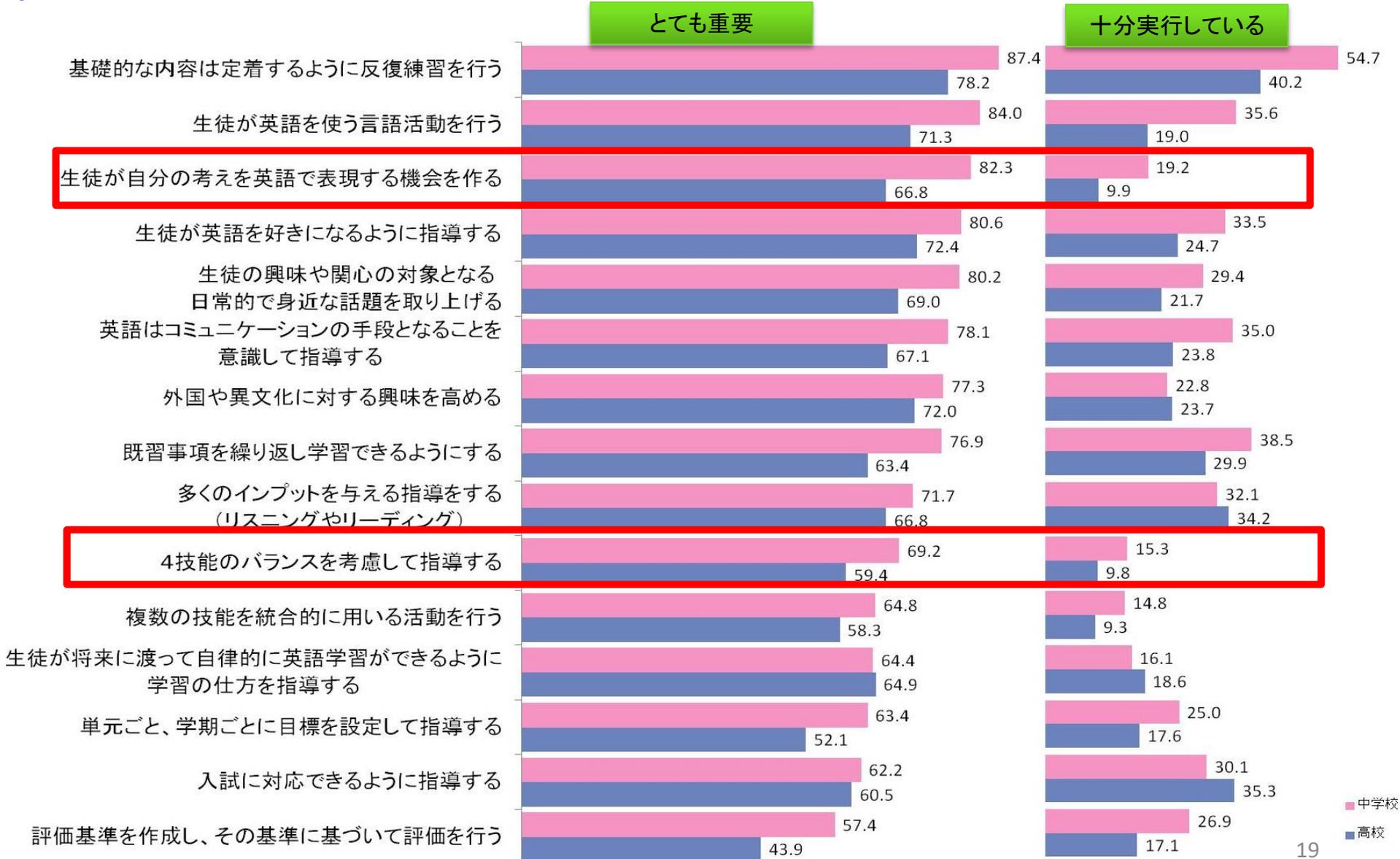
Q：授業において、次のようなことをどのくらい行っていますか。

よく行う＋ときどき行うの%



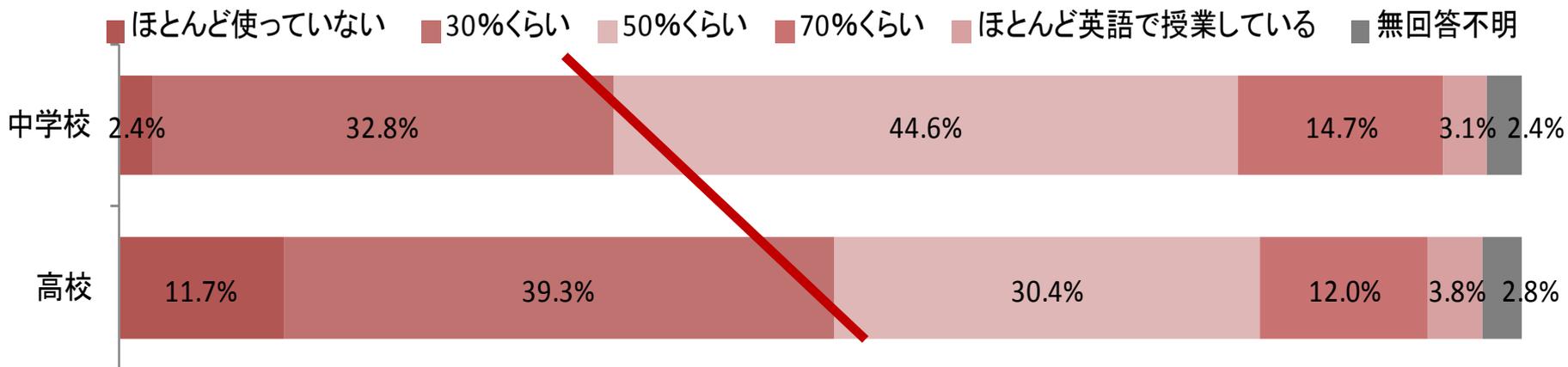
重要だと思うこと／実行していること (％)

Q: 英語を指導する際、次のことはどれくらい重要だと思いますか。また、それぞれについてあなた自身はどの程度実行していますか。



授業での英語の使用割合

Q：ふだんの授業において、あなたが英語をご使用になる割合はどれくらいですか。（％）



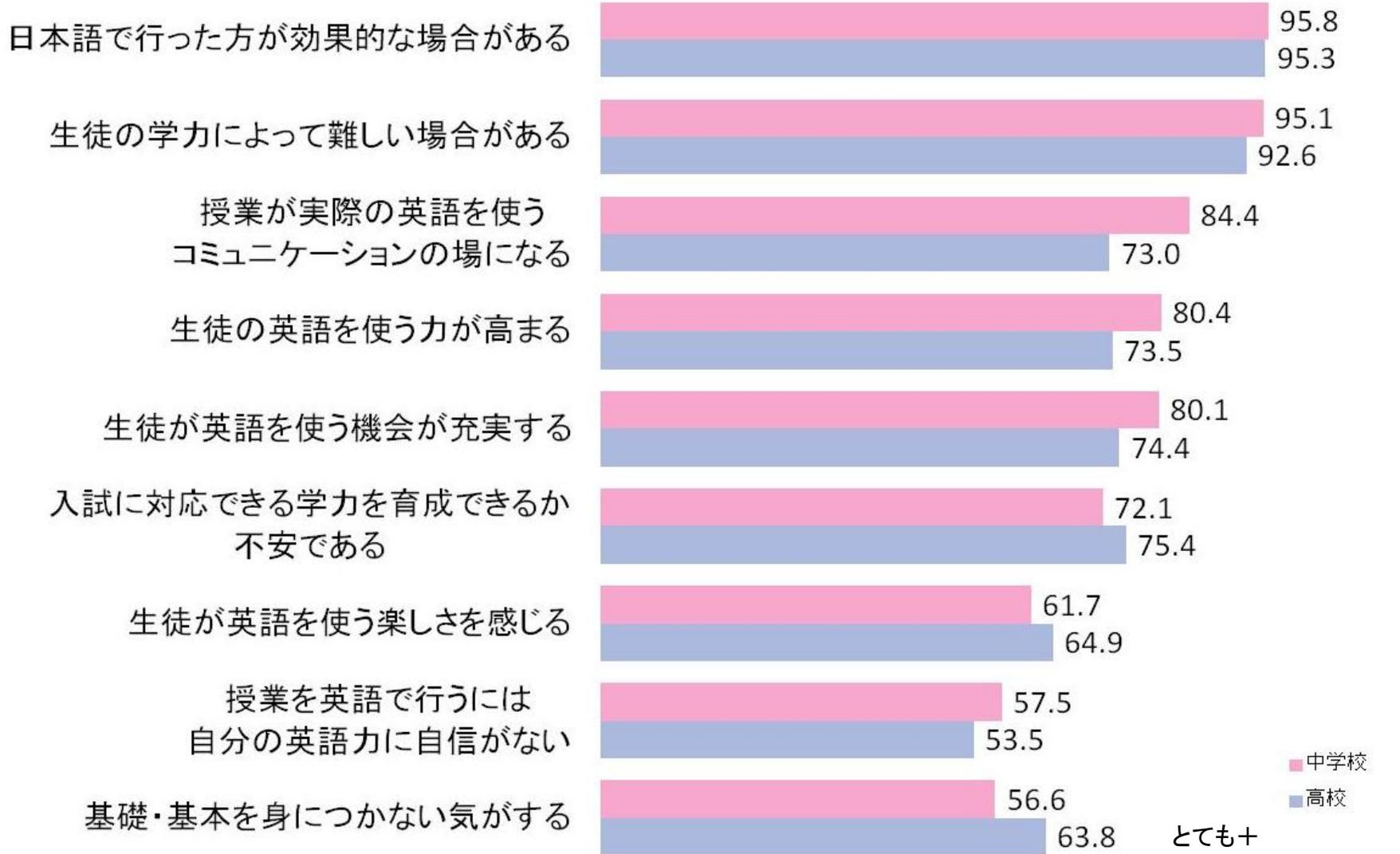
授業での先生の英語使用場面

Q：ふだんの授業において、次のような場面で英語を使いますか。よく+まあ使うの%

	中学校	高校	中一高
生徒への指示	94.5	81.6	12.9
褒め・励まし	89.0	72.8	16.2
生徒とのQ&A	88.9	77.4	11.5
生徒へのコメント・アドバイス	66.2	48.3	17.9
発音や発話の指導	65.3	60.3	5.0
本文の内容を紹介・説明 (オーラルイントロダクションやパラフレーズ)	64.1	54.5	9.6
言語活動の説明(活動のモデル提示も含む)	58.4	50.1	8.3
生徒が話したり書いたりした英語のパラフレーズ	41.7	34.5	7.2
誤りの修正	28.9	26.4	2.5
文法の説明	11.5	7.1	4.4

「授業を英語で行うこと」について

Q: 「授業を英語で行うことを基本とする」 ことについてどのように感じますか。 (%)

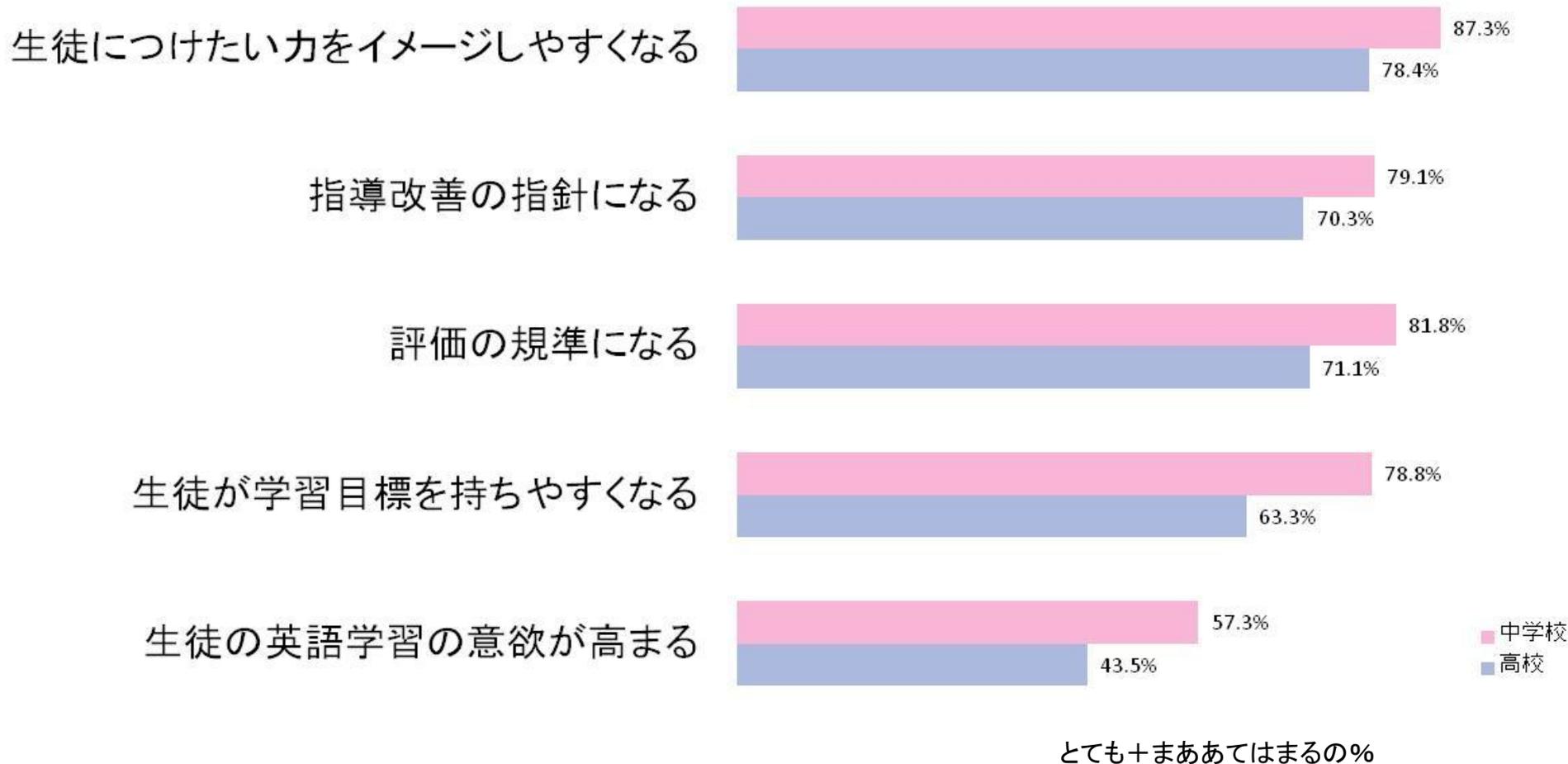


■ 中学校
■ 高校

とても+
まああてはまるの%
22

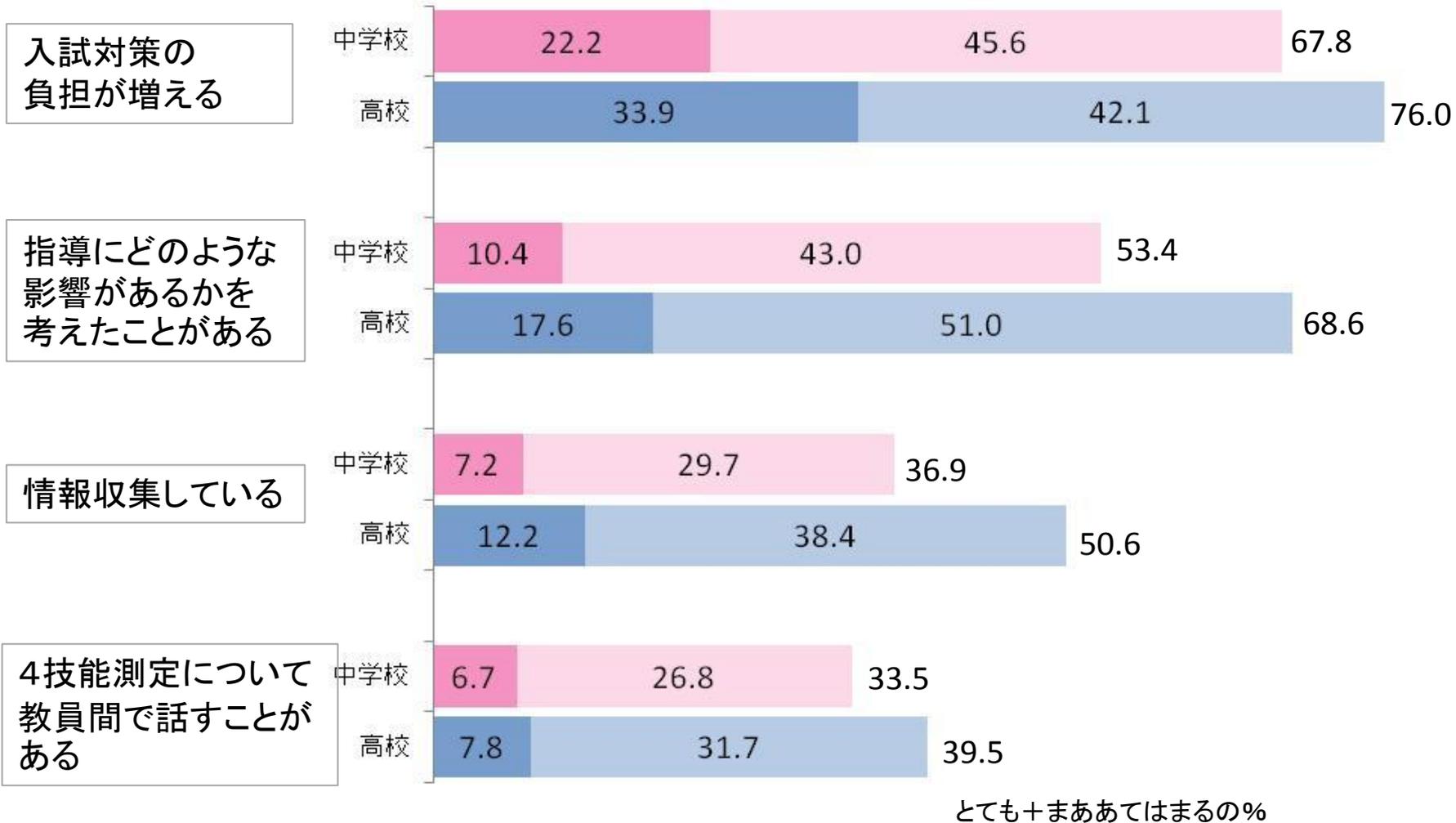
「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標設定

Q: 「CAN-DOリスト」の形の学習到達目標を設定することは、どのようなことに役立つと思いますか。 (%)



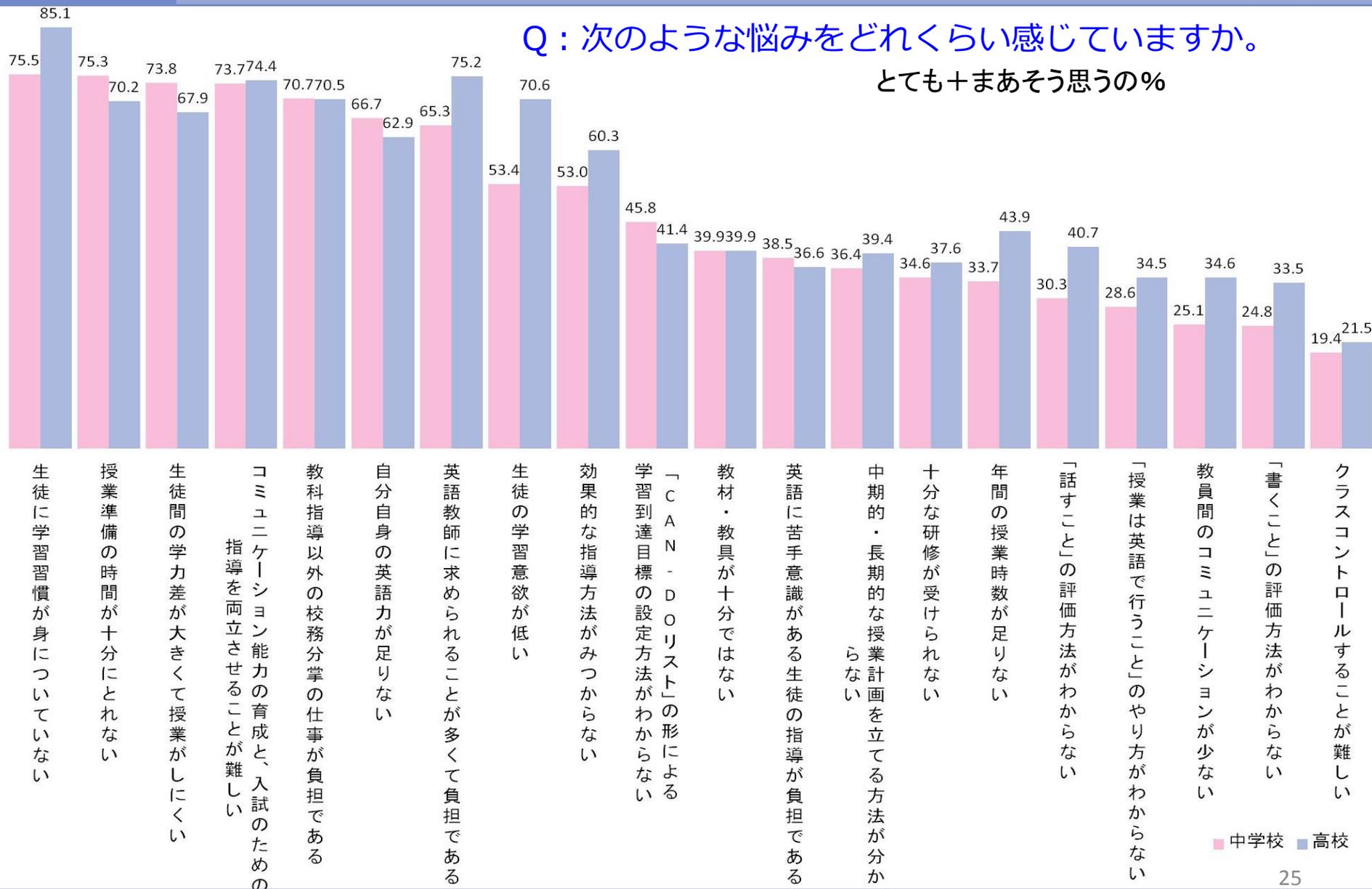
大学入試 4 技能測定

Q：大学入試を 4 技能で測定することについて検討されていますが、次のようなことはあてはまりますか。



Q: 次のような悩みをどれくらい感じていますか。

とても+まあそう思うの%



自己紹介（5分）

自由討議①（5分）

自由討議②（12分）

自由討議③（12分）

コメント（各4分×3人＝12分）

工藤、高木、重松

自由討議④（4分）

コメント（5分）

根岸

全体のまとめ（5分）

酒井

スライド17、18の「指導方法」のデータを見て、感じたこと、気づいたことを自由に共有してください。

* 指導する立場ではない方も、現在の中高の英語の授業の実態を知って、どう思ったかを話してください。

この指導・活動一覧の中で「話すこと」の力を伸ばすと思うものに○をつけてください。

- 1) 教師によるsmall talk
(英語による簡単な話)
- 2) 教室書本文の和訳
- 3) 文法の説明
- 4) 文法の練習問題
- 5) 英語による教科書本文の口頭導入
(オーラルイントロダクション)
- 6) Q&A (質疑応答) による教科書本文の内容読解
- 7) 長文読解問題
- 8) 初見の英語を読む
(教科書以外の読み物・英字新聞など)
- 9) 教科書本文のリスニング
- 10) 聞いたことのない英語を聞く
(教科書以外の英文・ドラマや映画など)
- 11) 和文英訳
- 12) ディクテーション
- 13) 英語で教科書本文の要約を書く
- 14) 自分のことや気持ちや考えを英語で書く
- 15) 発音と綴りとの関連づけ
- 16) 発音練習
- 17) キーセンテンスの暗唱と運用
- 18) 音読
- 19) 英語で教科書本文の要約を話す
- 20) 英語での会話 (生徒同士)
- 21) 即興で自分のことや気持ちや考えを英語で話す
- 22) スピーチ・プレゼンテーション
- 23) ディベート
- 24) ディスカッション

生徒の英語によるコミュニケーション能力を高めるために、教員の英語使用にはどんな効果があると思いますか。また、効果がある場合、どのように指導の中で英語を使用するのがよいでしょうか？

英語使用場面の例

- ①生徒への指示
- ②生徒とのQ & A
- ③生徒へのコメント・アドバイス
- ④言語活動の説明（活動のモデル提示も含む）
- ⑤褒め・励まし
- ⑥誤りの修正
- ⑦発音や発話の指導
- ⑧文法の説明
- ⑨本文の内容を紹介・説明（オーラルイントロダクションやパラフレーズ）
- ⑩生徒が話したり書いたりした英語のパラフレーズ